

はくさんじんじゃほんでん      むなふだ  
白山神社本殿 (附 棟札)



△白山神社本殿

この本殿は、飯水岳北地域では最も古い建築物で、古くから学会で知られている。本殿は台座の上に立っており、一間社、隅木入、春日造で、正面（桁行）60.7 cm、奥行（梁行）45 cmの建築物である。向拝丸桁の先端には、古拙な鯢が彫刻され、長い年月が経っているせいか隅の部分の盛り上がり、龍のように見えるという。

大棟の鬼板は多少の虫食いがあるものの、ほぼ完全な形で残っている。正面入母屋破風には、猪の目懸魚がかけられている。本殿は、金箔・群青・緑青・朱・胡粉・黄土で彩色されている。